

松村松年 まつむら まつね 昆蟲學者、理學・農學博士。明治五年二月五日飾磨(兵庫)縣明石生れ、昭和二十五年十一月七日歿(八七二―九六〇)。明治二十八年札幌農學校卒。ドイツ留學後、農學校、東北帝國大學農科大學各教授を経て、大正八年北海道帝大教授となる。帝國學士院會員、日本昆蟲學會會長。昭和二十九年文化功勞者。

著書、口國民道徳キリストの本體よ(大正十四年十月十五日明治圖書株式會社)、口觀たる

口人間性概論口(大正十四年十一月一日明治圖書株式會社)、口科學者が投じたる宗教界への爆弾口(第五版・大正十五年二月十日

南海書院)、口蟲界の驚異口(昭和二年九月十八日東京堂)、口松村

松年會伝口(昭和二十五年十一月二十五日山下午子刊、造形美術協

會)等。口ニ木露風・小野實著口理學博士農學博士松村松年口科學對宗教

口論争口(三版・大正十二年一月十日七星社)がある。

